

KiKiの広場

2017年 5月 1日

cafe NO.79
KiKi



2月の終わり頃、入口アーチのジャスミンに、蕾がびっしりついているのに気づいて、驚くと同時にもう咲くのだろうか心配していましたが、2か月経った今もまだ咲こうとしません。普通でもぼちぼち咲き始める時期なのに、なぜ?? 蕾の色は確かに白から赤く色づいてはきていますので、ゴールデンウィーク中には咲くかなと思いますが、これほど時間をかけるのには、ジャスミンなりに何か訳があったのでしょうか。今回、慌てて伸び放題の枝を整えましたが、フェイジョアの木にまでかなり進出していて、どちらにもかわいそうなことをしていたなと反省しました。「すべきことを怠ると、自分だけでなく周りにも迷惑をかける。」… 教訓になりました

5月の予定

臨時休業	3日(水)
休館日	9日(火)
定休日	毎土・日曜日



「今月のケーキ」…「抹茶きなこの和風ケーキ」350円

抹茶ときなこの和の素材を合わせたケーキです。豆乳きなこクリームと抹茶スポンジを重ね、鮮やかな色のコントラストが美しいだけでなく、小豆による食感も楽しめる、満足感充分の大人なケーキに仕上がっています。



今月のお気に入り…「さわやかな季節に読みたい絵本」

～「おおきなきかほしい」「木のうた」「そのつもり」「たいせつなこと」「ちいさなねこ」「こずめのほうけん」 などなど ～



新緑の美しいさわやかな季節に読みたい絵本を集めてみました。「おおきなきかほしい」の作者は、今年の2月、88歳で亡くなった佐藤さとるさんです。「誰も知らない小さな国」のコロボックルシリーズは、小学生の頃夢中で読みました。ファンタジーが大好きになったのも佐藤さんのおかげかもしれません。主人公のおおきなきかほしいは、大人でもほしくなる素敵な木。夢いっぱい楽しいお話です。そして、『あかいふうせん』など文字のない絵本で有名なイエラ・マリ作の「木のうた」は、1本の大木を中心に、その木を住処にしている生き物たちの春夏秋冬が美しく描かれています。



今月の本棚…「ありがとうと言葉にしたい絵本」

～「ありがとうのえほん」「ありがとうがしいたくて」「こぐまちゃんありがとう」「とってください」「ありがとうともだち」 など～



「ありがとうのえほん」は、マリーちゃんシリーズのフランソワーズの作品です。自分が触れ合うものへの感謝の気持ちが素直に描かれています。当たり前のようにある身近なもの一つ一つに、「ありがとう」という気持ちで過ごせたら、どれほど穏やかで幸せな日々になるでしょう。「ありがとうがしいたくて」は、『いつでも会える』の菊田まりこさん作です。「ありがとうってなあに?」ありがとうを知りたい天使が地上に降りて来ます。1人のお母さんを選んで女の子として生まれ変わり、いろいろなことを経験しながら「ありがとう」を感じます。一生を終えて天国に帰って神様から、「で、ありがとうはわかったかのう?」と聞かれて、さて天使はなんと答えたのでしょうか。絵本の中には、天使が出会ったたくさんのありがとうが溢れていて、優しい気持ちになる素敵な絵本です。



ほっとフレイク

4月のある日、1人の年配の男性が、村野建築を見に東京からやってきたと来られました。館内をご案内した後、「はい、これ案内してもらったお礼。」とポケットから何かを出してくださいました。それは、折り紙で作った作品で、ドーナツ状になっていて初めて見るものでした。「これ「折り紙万華鏡」って言うんだよ。」と、内から外にクルクルと回してみせられました。「ネットを見たら作り方がわかるからやってみよう。」と言って帰られました。とっても意外な展開に驚きましたが、常にポケットに入れておられるのかなと思うとつい笑ってしまいました!(^^)!



さっそくネットで探して作ってみました。同じパーツのものを7つ折って張り合わせて作るんですが、折り紙の模様で表情も変わるので、はまってしまい何十個も作ってしまいました。(^^;) エントランスのシェルフの上や KiKi にもいくつか置いているので、来られた時よかったら回してみてください。